

各 位

株 式 会 社 光 彩 工 芸
 代 表 取 締 役 社 長 深 沢 栄 二
 (J A S D A Q ・ コ ー ド 7 8 7 8)
 問 い 合 わ せ 先
 常 務 取 締 役 管 理 部 部 長

吉 田 貴

TEL 0551-28-4181

第 2 四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

平成 22 年 3 月 19 日に発表しました平成 22 年 1 月期決算短信（非連結）において公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 1 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 22 年 2 月 1 日～平成 22 年 7 月 31 日）
 （金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前 回 予 想 (A)	1,290	10	10	5
今 回 修 正 (B)	1,191	△19	△17	△14
増 減 額 (B - A)	△99	△29	△27	△19
増 減 率 (%)	△7.7	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 1 月期第 2 四半期)	1,170	△98	△97	△61

2. 修正の理由

売上高につきましては、第 2 四半期終了時点では前年同期に対し増収となりましたが、前回公表数値を下回る結果となりました。ジュエリーパーツ事業は概ね堅調に推移しましたが、ジュエリー受注事業につきましては、ブライダル関係商品が前年同期を上回ったものの、ファッションジュエリーが伸び悩み、売上高低下の要因となりました。

利益面につきましても、前年同期に対し大幅な増益となりましたが、売上高の伸び悩みと一部商品で地金相場上昇分の販売価格への転嫁が遅れたことや、品質管理などへの対策による人件費の一時的な増加が影響し、前回公表数値を下回る結果となりました。

第 3 四半期以降は、低価格素材を用いた新型ファッションジュエリーなどの市場投入や、海外市場を含めた販路の拡大などの対策を予定しており、通期の業績は平成 22 年 1 月期決算短信（非連結）において公表した業績予想通りとなる見通しであります。

3. 通期業績予想の修正について

平成 23 年 1 月期通期業績予想につきましては、現時点におきまして修正はございません。

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通 期 業 績 予 想	2,700	50	50	25

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後の様々な要因により本資料の見通しと異なる可能性があります。

以 上